KS-22-6（新青丸）研究航海報告

＊ 航海番号　　KS-22-6次研究航海

＊ 航海名称　　（和文）オホーツク海南西部における潮汐混合とポストブルーム期の物質循環・生態系に関する研究
（英文）Tidal mixing and post-bloom material-circulation and ecosystem in the southwestern Okhotsk Sea

＊ 観測海域　　（和文）北海道オホーツク沿岸特に知床沖海域
（英文）The southwestern Okhotsk Sea

＊ 航海期間　　令和　4年 4月 26日（火）～令和　4年 5月 15日（日）

＊ 出港日時・場所　　4月　26日　10時　横須賀港

＊ 入港日時・場所　　5月　15日　14時　八戸港

＊ 寄港期間・場所　　5月　6日 ～ 5月　7日　紋別港

＊ 研究課題　　オホーツク海南西部における潮汐混合とポストブルーム期の物質循環・生態系に関する研究

＊ 主席研究員（氏名・所属・職名・e-mail アドレス　◎は@）
中村知裕・北海道大学低温科学研究所・講師・nakamura◎lowtem.hokudai.ac.jp

＊ 研究内容，主調査者（e-mail アドレス），観測項目

１．潮汐による内部波生成と鉛直混合、中村知裕（nakamura◎lowtem.hokudai.ac.jp）、CTD、L-ADCP、船底 ADCP、XCTD、MBES

２．係留系による東樺太沿岸流の通年観測①回収、藤尾伸三（fujio◎aori.u-tokyo.ac.jp）、係留系回収（流速、水温、塩分、セジメントトラップ）

３．係留系による東樺太沿岸流の通年観測②設置、西岡純（nishioka◎lowtem.hokudai.ac.jp）、係留系設置（流速、水温、塩分、酸素、蛍光、セジメントトラップ）と NORPAC ネット

４．南部オホーツク海域の水塊分布と流速場、中村知裕（nakamura◎lowtem.hokudai.ac.jp)、CTD、L-ADCP、船底 ADCP、XCTD

５．南部オホーツク海域の栄養塩分布と乱流測定による栄養塩鉛直フラックスの見積もり、西岡純（nishioka◎lowtem.hokudai.ac.jp)、CTD-CMS と採水（栄養塩、クロロフィル、酸素同位体､)、マイクロライダー、表層モニタリング（水温、塩分、CDOM、クロロフィル）

６．南部オホーツク海における春季植物プランクトン群集とその栄養塩利用度、鈴木光次（kojis◎ees.hokudai.ac.jp)、CTD-CMS・バケツ採水および培養実験（DNA, RNA, 植物色素, 光合成活性, 検鏡, フローサイトメトリー)、C-OPS

７．南部オホーツク海域の溶存有機物分布、山下洋平（yamashiy◎ees.hokudai.ac.jp)、CTD-CMS と採水（蛍光性溶存有機物、溶存有機炭素、溶存有機窒素、有色溶存有機物）

８．オホーツク海南部のポストブルーム期における海洋表層に由来する大気有機エアロゾルの起源・生成機構の解明、宮﨑 雄三（yuzom◎lowtem.hokudai.ac.jp)、ハイボリュームエアサンプラー、カスケードインパクタ

９．海棲哺乳類と餌環境の観測、古巻史穂（shiho-96◎eis.hokudai.ac.jp)、目視（発見角度と距離、緯度経度、時刻、種、個体数、行動、天候）と計量魚群探知機、

＊ 乗船研究者氏名・所属・職名

中村　知裕	北海道大学　低温科学研究所	講師
西岡　純	北海道大学　低温科学研究所	教授
宮﨑　雄三	北海道大学　低温科学研究所	助教
小野　数也*B	北海道大学　低温科学研究所	技術専門職員
村山　愛子	北海道大学　低温科学研究所	学術研究員
藤尾　伸三	東京大学　大気海洋研究所	准教授
柳本　大吾	東京大学　大気海洋研究所	助教
鈴木　光次	北海道大学　地球環境科学研究院	教授
山下　洋平*A	北海道大学　地球環境科学研究院	准教授
田之上 夕姫	北海道大学　環境科学院	大学院生
古巻　史穂	北海道大学　環境科学院	大学院生
李 何萍	京都大学　理学研究科	大学院生
原田　大聖	北海道大学　環境科学院	大学院生

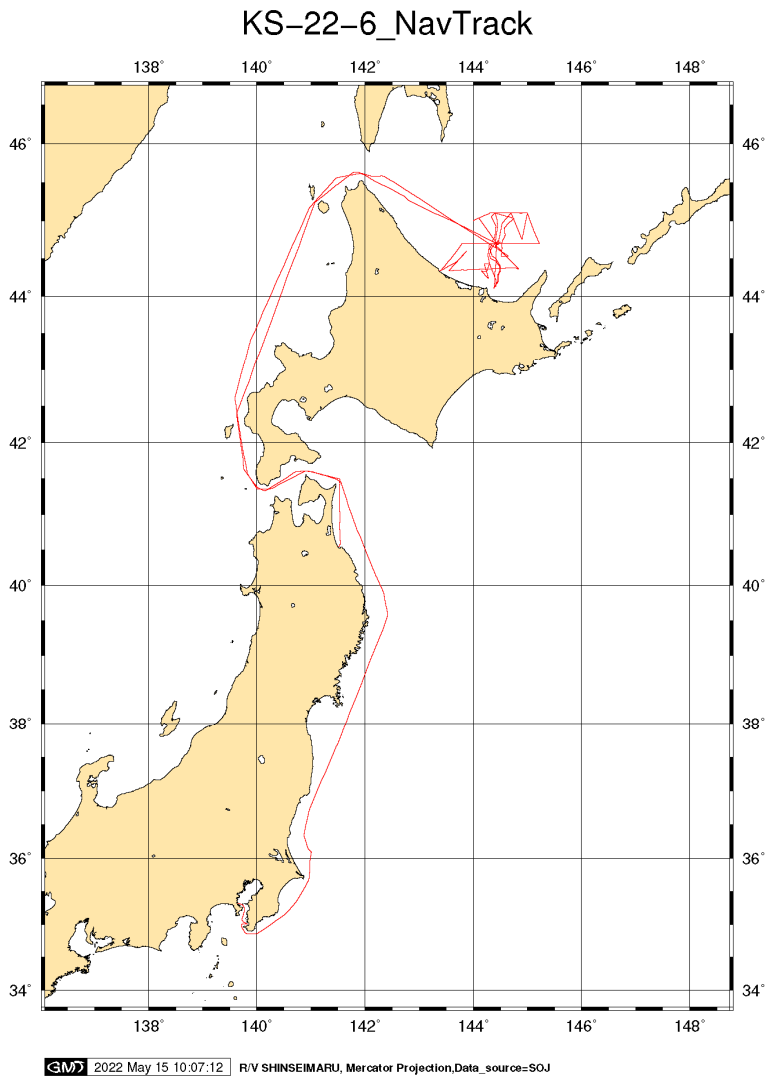
周嘉カイ*A	北海道大学　環境科学院	大学院生
本田 茉莉子*B	北海道大学　環境科学院	大学院生
大嶋 祐甫*A	北海道大学　環境科学院	大学院生
佐藤 弘康 *C	マリン・ワーク・ジャパン	観測技術員
森田 康 *B	マリン・ワーク・ジャパン	観測技術員

*A 4/26 横須賀から乗船し、 5/7 紋別で下船。

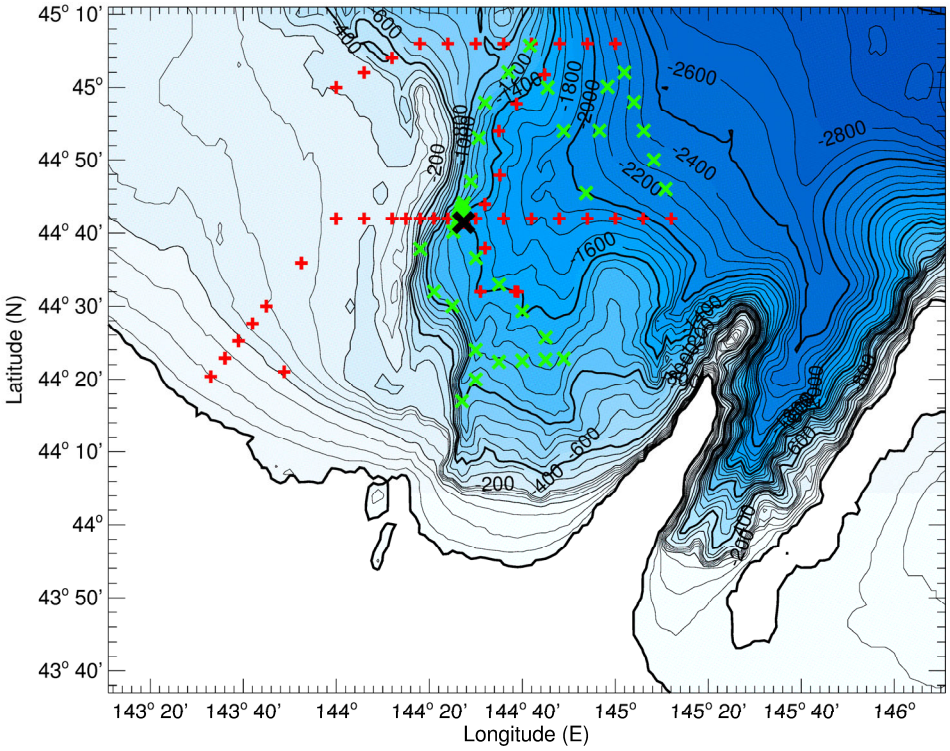
*B 5/7 紋別から乗船。

*C 4/26 横須賀から乗船し、 5 /6 紋別で下船。

＊ 航跡・測点図



航跡図：横須賀出港、紋別寄港、八戸入港



測点図：赤十字が CTD 測点、緑×印が XCTD 測点、黒×印が係留系